

日本物理学会 2009 年秋季大会 領域 10 インフォーマルミーティング議事録

1. 日時 平成 21 年 9 月 26 日(土) 12 : 30-13 : 30

2. 場所 熊本大学黒髪キャンパス YJ 会場

3. 報告・確認事項

- 3.1 5 月 27 日(水)に開かれた物性領域プログラム小委員会において 2 件のシンポジウムが採択(条件無)となったこと、領域委員会においてフォノン物性分科の世話人数の変更(2 名から 1 名)が了承されたとの報告があった。
- 3.2 領域 10 の若手奨励賞の応募は 7 月 31 日で締め切られ、現在応募者について若手奨励賞選考委員会により審査を行っている。
- 3.3 次期領域代表と副代表について、代表は野田幸男氏(東北大学、現副代表)、副代表は格子欠陥分科からの推薦された前田康二氏(東京大学)を物理学会へ報告する予定である。
- 3.4 次期領域 10 連絡系の選出について
任期 2009 年 10 月 1 日より 2010 年 9 月 30 日
X 線・粒子線分科の世話人より選出される予定である。
- 3.5 各分科の次期領域世話人(任期 : 2010 年 5 月-2011 年 4 月)は各分科のインフォーマルミーティングで選出される。
- 3.6 第 65 回年会は、岡山大学で 2010 年 3 月 20 日(土)-23 日(火)に行われる。

4. 審議事項

- 4.1 フォノン物性分科の名称変更について
同分科世話人より分科名称を「フォノン物性」より、「フォノン」に変えたいとの説明があり了承された。
- 4.2 若手奨励賞の年齢制限について
現在の日本物理学会賞若手奨励賞 領域 10 選考要項(2006.9.19)の受賞資格「37 歳以下」について、年齢を引き上げたいとの要望があることから、各分科で意向を調査することになった。
- 4.3 物理学会「領域世話人」の名称、並びに任期(5 月 1 日、11 月 1 日交代)の検討
- 1) 名称については「領域運営委員」が妥当であるとの結論に至った。
 - 2) 任期については現行を希望する意見と人事異動の時期(4 月 1 日、10 月 1 日)にする意見が拮抗している、ためさらに継続して意向を調査することになった。
また、これ以外に「世話人任期を長く」との要望も出されたが反対意見もあり、保留となった。
- 4.3 その他
特になし。